卒業研究梗概集原稿作成の手引き

00FI000 電大 未来子　指導教員 未来 太郎

Guide for Manuscript Formatting for Digest of Graduation Thesis

Mikiko Dendai　Taro Mirai

1　はじめに

この文書は情報メディア学科卒業研究梗概集提出用原稿データを作成するための手引きである. 体裁と提出データのフォーマットについては, この手引書を参照して確認を行うこと.

なお, 研究内容については卒業論文としての一般的な執筆方法については, 指導教員と十分に相談し, 指導を仰ぎながら執筆を行うこと.

2　体裁

2.1　原稿数とページ数

1 研究題目で 1 原稿, 2 ページとする. 必要があれば（人数×2）ページを上限として, 増ページを可とし, 卒業研究Ａの場合は 1 ページでも可とする. 執筆に用いる言語は, 日本語または英語とする.

2.3　レイアウト

A4 サイズ, モノクロ原稿とする. 上および左右に 19 mm, 下に 30 mm 程度の余白をとり, 1 ページ目の上部にタイトル部を配し, その後に本文を記述すること.

また, 余白には, 何も記載しないこととし, ページ番号, ヘッダ, フッタなどの情報が入らないよう注意すること.

3　タイトル部

タイトル部に記入すべき項目は,

(1) 研究タイトル
(2) 著者名（日本語）
(3) 英文研究タイトル
(4) 著者名（ローマ字）

とする. 原則として, 各項目を 1 行で, 一段組み, 中央揃え, 行間を 1 行として記入すること. 一つの項目が 2 行以上に渡る場合は, 行間を狭めるなどの調整により, 一つの項目として認識しやすくすること.

ソフトウエア等の環境により, 指定のフォントを利用することが難しい場合は, 指導教員と相談の上, できるだけ似たフォントを使用するなど, 可能な限り梗概集全体と調和する原稿となるよう努めること. タイトル部各項目のフォント指定を表 1 に示す.

表1. タイトル部各項目のフォント指定

記載内容	字体	サイズ
研究タイトル	ＭＳゴシック	14pt
著者名(日本語)	ＭＳゴシック	10.5pt
英文研究タイトル	**Times太字**	14pt
著者名(ローマ字)	Times	10.5pt

4　本文

4.1　段組み

二段組とし, 段の間を 2 文字程度（10 mm 程度）空ける. 各行間は 12.5pt を基準とし, 章, 節のタイトルの前には各 1 行分の空行を設けること.

4.2　章の見出し

和文の場合, 章の見出しは, 章を示す数を半角数字で示した後, 一字空けて章タイトルを記述すること. フォントは 11 pt のＭＳゴシック太字を使用する.

英文の場合, 章の見出しは, 章を示す数を半角数字で示した後, 一字空けて章タイトルを記述すること. フォントは, 10 pt の Arial 太字を使用する.

4.3　節の見出し

和文の場合, 節の見出しは, 章と節を示す数を, 半角数字を使ってピリオドで区切って示した後, 一字空けて節タイトルを記述すること. フォントは, 9 pt のＭＳゴシック太字を使用する. 英文の場合, 節の見出しは, 章と節を示す数を, 半角数字を使ってピリオドで区切って示した後, 一字空けて節タイトルを記述すること. フォントは, 10 pt の Arial 太字を使用する.

4.4　文章の書式

和文の場合, 本文中の文章は, フォントは 9 pt のＭＳ明朝体とし, 句読点はそれぞれ「.」「,」を用いる. 英文の場合, 本文中の文章は, 10 pt の Times, 行間は 12.5 pt とする. なお, 和文の文中の語句にアルファベットを使用する場合のフォントについては, その語句を,

(1) 英語を引用として記す場合
(2) 日本語の語句の一部として記す場合

に分け, (1)については半角英字で, (2)については主に全角英数を使用すること. 以下に前述(1), (2)について例を挙げる.

(1) Audio-Video equipment（半角 9 pt Times）
(2) ＡＶ機器（全角 9 pt ＭＳ明朝）

4.5　キャプションの書式

図と表には必ずキャプションを添えること. フォントは和文, 英文とも, 文章で使用するフォントの太字を使用し, 中央揃えで配置すること. 図と表に付ける通し番号は, 文章で使用するフォントの半角数字で表記し, ピリオドをつけ, さらに空白をおいて内容を示す語句を記入すること. 図 1 にグラフを挿入する場合の例を示す.

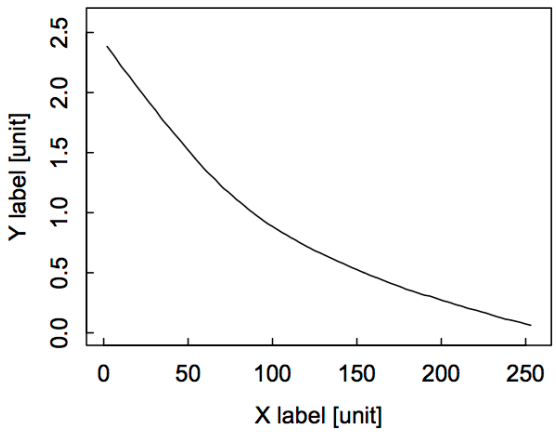

図1.　印刷時に擦れないような太い線のグラフ

5　モノクロ原稿とカラー図版

5.1　モノクロ原稿

原稿データはモノクロの PDF として出力および印刷し，その刷り上がりを確認した上で，データとともに印刷物も 1 部提出すること．このモノクロ印刷は，業者が刷り上がり見本の確認に用いる．

5.2　カラー図版の追加

原稿本文の内容に直結してカラー図版が必要な場合に限り，担当教員と相談の上，1 研究あたり 1 ページを上限とした付録を追加できる．ただし，入稿に際しては，印刷済みの現物を持ち込み，製本時に綴じ込む形式となるので，各自で印刷品質を確認すること．必要部数については，研究室とりまとめ担当者に確認すること．

カラー図版は，各研究室のモノクロ原稿の後に，各研究室分をまとめて綴じ込むので，該当する本文との対応が分かりやすいように，ページ中央上部 1 行目に研究タイトル，2 行目に著者名を明記すること．フォントは 10 pt のＭＳ明朝とし，中央揃えで配置すること．

6　保存方法

6.1　ファイル形式とファイル名

提出するファイル形式は，モノクロ原稿もカラー図版も PDF とする．ファイル名は「学籍番号.pdf」とする．カラー図版は，「学籍番号_color.pdf」とする．

6.2　フォントの埋め込み

PDF の提出ファイルには，すべてのフォントの埋め込みを適用する．Adobe Reader の「プロパティ」の「フォント」タブから，すべてのフォントが「埋め込み」もしくは「埋め込み サブセット」となっているか確認すること．「PDF フォント埋め込みチェッカー」などの各種ウェブサイトで確認することもできるが，判定不能な場合もあるので注意すること．

7　梗概集ウェブとデータ配布

本ドキュメントは，「卒業研究梗概集連絡ページ」にて，ダウンロードできる．このウェブページは，情報メディア学科演習室のホームページからリンクされている．URL は，http://www.mlab.im.dendai.ac.jp/~assist/thesis/****/であり，****には 4 ケタの西暦の年度が入る．

各端末におけるソフトウエアの環境によっては，Word データ中の書式指定が変わってしまうことがある．本ドキュメントの指示も併せて十分確認を行うこと．

参考文献

[1] 著者名，“表題，”雑誌名，巻，号，pp.頁–頁，年.
[2] 電大太郎，電大花子，“情報メディア学科の歴史，”情報メディア学会論文誌，Vol.1，No.1，pp.1–8，2016.
[3] T. Dendai, H. Dendai, “The history of Tokyo Denki University,” TDU TRANSACTIONS on communications, Vol.110, No.2, pp.21–25, 2010.
[4] 著者名，“Web ページ資料表題，” URL，参照年月日.
[5] 東京電機大学情報 メディア学科演習室，http://www.mlab.im.dendai.ac.jp/wiki/index.php，参照 2016 年 12 月 7 日.

備考）
2016/12/07
学績番号・著者名の例の修正，段落のインデントの設定追加，禁則処理高レベルの設定追加，日本語と数字の自動調節機能の追加，日本語と英字の自動調節機能の追加，欧文の自動ハイフネーションの設定追加，参考文献のぶら下げインデントと箇条書き機能追加，図の差替え，参考文献例の追加，そのほか印刷業者変更に伴う指示の全体的な修正などを行いました．